

山口県感染症発生週報

(第49週:平成25年12月2日～12月8日)

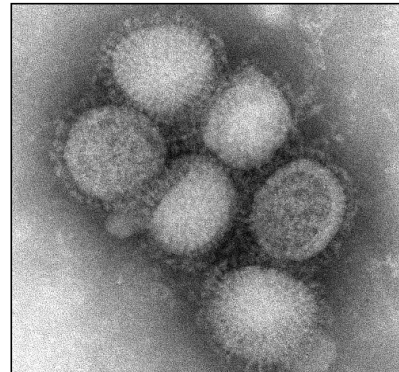
1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 2例(岩国1、宇部1)。

【5類感染症】

・アメーバ赤痢: 1例(岩国)。
・後天性免疫不全症候群: 1例(下関)。



インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ: 県全体の定点当たりの報告数が1を超え、流行シーズンに入りました。特に周南と防府からの報告が目立ちます。他の地域でも増加してくると思われるので、今後の動向に注意が必要です。迅速診断結果はA型130例で、7例は臨床診断です。病原体検査では、第46週・第48週の検体からAH3(香港型)、第49週の検体からAH1(pdm09)が検出されています。
- ・RSウイルス感染症: 防府、周南でやや多く、県全体では横ばい状態が続いています。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 山口で警報レベルが続いています。[警報レベル:山口(7週目)]*
- ・水痘: 萩で警報レベルが続いています。[警報レベル:萩(6週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	47週	48週	49週	疾患名	47週	48週	49週
インフルエンザ	22	61	137	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	55	66	68	ヘルパンギーナ	10	8	3
咽頭結膜熱	33	21	26	流行性耳下腺炎	3	8	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	123	153	162	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	404	524	479	流行性角結膜炎	0	1	2
水痘	66	76	70	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	32	38	24	細菌性髄膜炎	0	0	1
伝染性紅斑	2	0	1	マイコプラズマ肺炎	2	0	3
突発性発しん	22	51	30	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	1	7	2	79	30	14	4	0	0	137
RSウイルス感染症	13	6	2	19	8	2	13	2	3	68
咽頭結膜熱	4	6	1	1	5	3	4	0	2	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	8	2	8	6	60	20	4	4	162
感染性胃腸炎	92	39	0	113	11	90	101	21	12	479
水痘	33	4	0	10	4	0	6	4	9	70
手足口病	0	1	3	8	9	3	0	0	0	24
伝染性紅斑	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
突発性発しん	5	4	0	7	0	6	3	3	2	30
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
流行性耳下腺炎	4	0	1	0	0	0	0	1	0	6
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0